

令和7年度

農業用施設災害復旧事業

八本松地区災害復旧工事(7-2)

仕様書

施 工 場 所 東広島市八本松町原

令和7年度 農業用施設災害復旧事業
八本松地区災害復旧工事(7-2) 位置図

広域図



詳細図



特記仕様書

第1章 総則

1. 適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和6年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県）」及び東広島市制定の第15編下水道編(最新版)に基づいて実施しなければならない。この場合においては、次のとおりとする。

- (1) 「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。(ただし、第1編第1章第1節1-1-1-25第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。)
- (2) 「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。
- (3) 「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。
- (4) 「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。
- (5) 「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。
- (6) 「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。
- (7) 「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準）」と読み替える。
- (8) 「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。
- (9) 「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。
- (10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と読み替える。
- (11) 「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。
- (12) 「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。

(13) その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者 又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産木材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から [7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2. 前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の

40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあつては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

- ・建設工事請負代金前金払実施要領
- ・建設工事請負代金中間前金払実施要領
- ・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3. 現場代理人の兼務

- 1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
 - 2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
 - 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めるときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。
 - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
 - (2) 兼務を承認した日から起算して14日(東広島市の休日定める条例(平成元年東広島市条例第6号)第1条第1項に規定する市の休日を除く。)を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
 - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
 - (5) 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - (6) その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。
- ※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあつては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあつては平成17年2月7日前の町の区域とする。

4. 現場作業終期日

本工事の施工に当たっては、工期末の30日前までに、現場作業を終了しなければならない。

なお、現場作業終期日までに適時、速やかに「土木工事共通仕様書(令和6年8月)広島版」第1編1-1-1-22第2項第3号に記載してある出来高が確認できる資料を監督職員に提出しなければならない。

5. 履行報告

履行報告の提出にあたっては、実施工程表と平面図(施工済み箇所を着色)又は、進捗状況が確認できる写真を添付すること。なお、月締め報告とし、翌月7日までに提出すること。

6. 官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面(写し)を提出するものとし、更新手続き(許可内容が同じもの)の場合は、届出等の鑑のみとする。

7. 工事中情報共有システム(受注者希望型)

- (1) 本工事は、工事中情報共有システムの対象(受注者希望型)である。
- (2) 工事中情報共有システムの利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
- (3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。

広島県工事中情報共有システム(一般社団法人 広島県土木協会)

<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html>
- (4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
- (5) 利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。
- (6) 運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。

この場合においては、次のとおりとする。

- 1) 「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。
- 2) 「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。
- 3) 「4.検査」は適用しない。
- 4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
- 5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- (1) 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- (2) 工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。）、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- (3) 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。
ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- (4) 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
- (5) 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。
- (6) 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。
- (7) 積算方法は次のとおりとする。
 - 1) 補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。
なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - 2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。
- (8) 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。
- (9) 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

9. 遠隔地からの労働者を確保する場合の積算方法

- (1) 本工事は、「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の次に示す費用（以下「実績変更対象費」という。）について、工事实施に当たって不足する技術者や技能者を広域的に確保せざるを得ない場合も考えられることから、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、土木工事標準積算基準書・土地改良事業等請負工事積算基準・森林整備保全事業設計積算要領の金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更を行う。
営繕費：労働者送迎費、宿泊費、借上げ費
（宿泊費、借上げ費については労働者確保に係るものに限る。）
労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用
- (2) 本工事における実績変更対象費の割合は次のとおりである。

- 1) 共通仮設費（率分）に占める実績変更対象費（労働者送迎費、宿泊費、借上げ費）の割合【農業用施設災害復旧事業：4.10%】
- 2) 現場管理費に占める実績変更対象費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用）の割合【農業用施設災害復旧事業：0.93%】

- (3) 受注者は、実績変更対象費の割合を参考にし、工事着手までに実施計画書を作成し、監督職員に提出する。なお、実施計画書には根拠となる資料を添付すること。
- (4) 最終精算変更時点において、実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更が必要な場合は、実績報告書及び実績変更対象費について実際に支払った全ての証明書類（領収書の写し、領収書の出ないものは金額の妥当性を証明する書類等。）を監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。
- (5) 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については設計変更の対象としない。
- (6) 実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、土木工事標準積算基準書・土地改良事業等請負工事積算基準・森林整備保全事業設計積算要領に基づき算出した額における実績変更対象費を差し引いた額を加算して算出する。なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。
- (7) 受注者から提出された資料に疑義の申告があった場合については、法的措置及び指名除外等の措置を行う場合がある。
- (8) 疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

10. 遠隔地からの建設資材を調達する場合の積算方法

建設資材及び仮設材については、調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達をせざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類（実際の取引伝票の写し等）を監督職員に提出するものとし、その費用について設計変更することとする。

「調達地域等」とは、建設資材にあつては、広島県土木工事設計資材単価表及び広島県農林土木用資材単価表で示す地区、又は地区の指定がない場合は広島県内を言い、仮設材にあつては、土木工事標準積算基準書（広島県）第X編 参考資料 第2章 工事費の積算 1)間接工事費 1)-1共通仮設費 1 運搬費

(4)リース器材 の運搬で示す仮設材が所在すると推定される場所又は大手リース業者基地等をいう。

11. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

12. 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

13. 週休2日適用工事等

本工事は、週休2日適用工事（発注者指定型）であり、「東広島市週休2日適用工事等実施要領（最新版）」又は「東広島市週休2日適用工事等実施要領（農林工事）（最新版）」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要がある様式「休日取得計画表」は「検査課HP>施工関連資料>週休2日適用工事等の実施について」に掲載している。

14. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」

については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m³以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあつては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあつては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあつては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) ストックヤード運営事業者登録規定により国に登録されたストックヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料

受注者は、次に示す材料又は監督職員が指示する材料について、見本又は品質を証明する資料を、材料を使用するまでに監督職員に提出するものとする。また、材料の購入は監督職員の確認を受けた後に行うものとする。

区分	材 料 名	摘 要
鋼材	異形棒鋼	
セメント及び混和材		
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	J I S 製品以外
その他	レディーミクストコンクリート	

2. 品質規格証明資料等

受注者は、工事に使用した次に示す材料又は監督職員が指示する材料の品質を証明する試験成績表、性能試験結果、ミルシート等の品質規格証明書を監督職員に提出するものとする。

区分	材 料 名	摘 要
鋼材	異形棒鋼	
セメント及び混和材	セメント系固化材	
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	J I S 製品以外
その他	レディーミクストコンクリート	

3. 六価クロム溶出試験(及びタンクリーチング試験)

本工事は「六価クロム溶出試験(及びタンクリーチング試験)」の対象工事であり、次の工種について、六価クロム溶出試験(及びタンクリーチング試験)を実施し、試験結果(計量証明書)を提出するものとする。なお、試験方法は、セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領(案)によるものとする。また、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生

じた場合は、監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

- ・六価クロム溶出試験対象工種名及び検体数

地盤改良工： 配合設計段階 1検体

第3章 施工条件

1. 安全対策

- (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員 ・交通誘導警備員は見込んでいない。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の配置が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

2. 盛土・埋戻土

- (1) 流用土(工事内流用)

本工事の施工により発生する土のうち、 37m³(地山土量) については当該工事の施工に流用するものと見込んでいる。

- (2) 購入土(搬入)(新材料)

本工事では、 97m³(ほぐし) の新材料の土砂購入を見込んでいる。

第4章 その他

1. 工事関係書類

- (1) 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領 -土木工事編-によるものとする。

- (2) 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2. 工事写真

工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準(令和6年8月)」によるものとし、工事写真の提出部数は、工事写真帳と原本(電子媒体)を各1部提出する。

3. 疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

(災害) ため池工事特記仕様書

第1章 材 料

第1条 盛土材

1. 盛立材料は締固めた土質材料の透水係数が $1 \times 10^{-4} \text{ cm/s}$ ～ $5 \times 10^{-5} \text{ cm/s}$ を目安とする。
2. 現地の発生土において、盛立への流用の適否を検討するために次の土質試験を実施し、その試験結果を監督職員に提出するものとする。

材料	試験項目	試験方法	試験頻度	規格値
盛立材料(流用土含む)	土粒子の密度試験	JIS A 1202	着手前に1回 及び材料が変わった時	
	粒度試験	JIS A 1204		
	含水比試験	JIS A 1203		
	突固めによる土の締固め試験	JIS A 1210		
	透水試験	JGS 1316		$1 \times 10^{-4} \text{ cm/sec}$ ～ $5 \times 10^{-5} \text{ cm/sec}$

3. 築堤材料には腐食土、不良土、雪、氷、草根木等の有害物が混入しないようにしなければならない。

第2章 工事施工

第1条 洪水吐工

第1項 掘削

1. 掘削するときは、腐食土、草根木等の有機物質及び風化転石、泥土等基礎として不適当なもの並びに池水の浸透を誘導する雑物は除去しなければならない。一般に一層の仕上げ厚さの1/3以上オーバーサイズ粒径の石等の混入物は取除くものとする。
2. 表土の剥ぎ取り厚さは別に指定しない限り 30cm 以上とすることとし、表土と築立材料は混合しない。
3. 床堀は設計図書に示す深さまで掘り下げ、掘削完了後は監督員の検査を受けなければならない。

4. 掘削の最下部面は土砂のかく乱のないよう丁寧に仕上げること。
5. 掘削土の流用については設計図書で指定されているもの以外は流用してはならない。

第2項 盛立工

1. 洪水吐周辺の盛土は特に入念に締め固めること。また締め固め機械によって洪水吐に損傷を与えないように注意すること。
2. 土のまき出し及び転圧は必ず堤体の縦断方向に施工するものとし横断方に層状にならないよう注意しなければならない。ただし、樋管設置のための開削部で作業が困難な場合はこの限りではない。
3. まき出した土はその日のうちに締め固めを完了する事を原則とする。
4. 掘削や盛土にあたって湧水のあるときは、監督員の指示に従い処理しなければならない。
5. 床掘部の盛立において、湧水のあるときはこれを排除して十分に締め固めなければならない。なお、排除の方法等については監督員と協議しなければならない。
6. 地山及び既成盛土部との接触面は、特に入念に締め固めなければならない。
7. 地山または既成盛土との接触面及び地形上、タイヤローラー及び振動ローラーの使用が不可能な箇所の転圧に際しては、地山との密着及び既成盛土との均一化について特に留意し、タンパ等によって入念に締め固めをしなければならない。
8. 転圧作業にあたり、ローラーの転圧幅は少なくとも 30 cm以上重複させなければならない。
9. 法面部の盛土については、規定以上の寸法の広さまでまき出し十分締め固めを行い、はみ出した部分は盛土後に切取って丁寧に土羽打をして仕上げるものとする。
10. 霜柱、凍結した表土は、必ず除去して転圧しなければならない。また、含水比あるいは締め固め密度が所定の値を満足していない場合、その1層を廃棄あるいは再締め固めしなければならない。

11. 「まき出し厚」「仕上り厚」「使用機械」等は設計図書を標準とし、別に示す土質試験結果の最大乾燥密度の95%以上になるように締固めなければならない。

盛土の種類	使用機械	締固め速度	まき出し厚	仕上り厚	転圧回数
盛立材料	タイヤローラ	3,500m/h	30cm	22cm	8回
	振動ローラ	1,000m/h	20cm	14cm	4回
	タンパ	550m/h	20cm	14cm	4回

12. 盛土の施工中において、流用土の不適、転圧の不十分、または請負者の不注意によって湧水、盛土法面の崩壊があった場合には、その部分及びこれに関連する部分の盛土について再施工させる場合がある。

13. 築堤現場（段切りも含む）は常に排水を十分にし、雨水等が盛土部分に残留しないよう留意しなければならない。

14. 盛立作業ヤード上で締固め機械を急旋回させてはならない。

第3章 施工管理

1. 施工管理

施工管理については、広島県土木工事共通仕様書に基づき監督員と協議の上行うこと。

ただし、築堤盛土については次の試験及び出来高管理を実施し、試験結果等の記録を提出すること。なお、実施場所は施工計画により監督員の承認を得ること。

①試験項目・実施時期（回数）

含水比試験（JIS A 1203）共通 初回

その他：天候により含水比試験の確認に必要な場合。

※降雨、降雪、猛暑日等

現場密度試験（JIS A 1214）：盛土高1m完了ごと 施工延長80mに1箇所

現場透水試験：盛土高1m完了ごと 施工延長80mに1箇所

②出来高管理（写真管理）

1層ごとのまきだし厚及び、仕上がり厚（各作業毎）

作業状況：仕上がり厚1m毎に1～2回

出来高全景：仕上がり厚1m毎に1～2回

2. 試験管理基準

含水比試験：標準突固め最適含水比－盛土含水比＝±5%

現場密度試験：（盛土乾燥密度／標準突固め最大乾燥密度）＊100≥95%

現場透水試験： $1 \times 10^{-4} \text{ cm/sec}$ ～ $5 \times 10^{-5} \text{ cm/sec}$

3. 試験の結果、管理基準に達しない場合は監督員の指示にしたがうものとする。
4. 工事完了後外面から目視出来ない箇所又は、重要な工事部分については監督の確認事項とする。
なお、寸法、施工状況が確認出来るよう十分留意して写真撮影すること。
5. 工事費明細書に定められた以外の試験に要する費用は、請負者が負担するものとする。

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	備考
本工事費					
ため池		式		1	レベル1
寺屋敷池		式		1	レベル2
作業土工		式		1	レベル3
床掘		式		1	レベル4
埋戻	土砂	式		1	レベル4
購入土	ランダム材 CBR20以上	m3		97	レベル4
洪水吐工(調整部)		式		1	レベル3
コンクリート	24-12-25BB	m3		2.6	レベル4
型枠	一般型枠	式		1	レベル4
均しコンクリート	18-8-40BB	m3		0.5	レベル4
均しコンクリート型枠	一般型枠	式		1	レベル4
鉄筋工	SD295_D13	t		0.091	レベル4
止水板	FF 150*5	m		2.4	レベル4
越流堰		箇所		1	レベル4
洪水吐工(移行部)		式		1	レベル3
コンクリート	24-12-25BB	m3		2.6	レベル4
型枠	一般型枠	式		1	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	備考
均しコンクリート	18-8-40BB	m3		0.3	レベル4
均しコンクリート型枠	一般型枠	式		1	レベル4
鉄筋工	SD295_D13	t		0.098	レベル4
ダウエルバー取付	異形棒鋼 SD295_D16	本		19	レベル4
止水板	FF 150*5	m		4.4	レベル4
目地板	ゴム発泡体目地板t=10mm 硬度30以上	m2		1	レベル4
止水壁		箇所		1	レベル4
床版工	T-2	枚		2	レベル4
洪水吐工(放水路)		式		1	レベル3
コンクリート	24-12-25BB	m3		9.6	レベル4
型枠	一般型枠	式		1	レベル4
均しコンクリート	18-8-40BB	m3		1.4	レベル4
均しコンクリート型枠	一般型枠	式		1	レベル4
鉄筋工	SD295_D13	t		0.362	レベル4
ダウエルバー取付	異形棒鋼 SD295_D16	本		19	レベル4
止水板	FF 150*5	m		4.4	レベル4
目地板	ゴム発泡体目地板t=10mm 硬度30以上	m2		1	レベル4
洪水吐工(減勢工)		式		1	レベル3

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	備考
コンクリート	24-12-25BB	m3		2.5	レベル4
型枠	一般型枠	式		1	レベル4
均しコンクリート	18-8-40BB	m3		0.4	レベル4
均しコンクリート型枠	一般型枠	式		1	レベル4
鉄筋工	SD295_D13	t		0.074	レベル4
ダウエルバー取付	異形棒鋼 SD295_D16	本		19	レベル4
止水板	FF 150*5	m		4.6	レベル4
目地板	ゴム発泡体目地板t=10mm 硬度30以上	m2		1	レベル4
シュートブロック		箇所		1	レベル4
バップルピア		箇所		1	レベル4
エンドシル		箇所		1	レベル4
地盤改良工		式		1	レベル3
地盤改良工	混合深さ1.2m セメント系固化材 一般軟弱土用 50kg/m3	m2		16	レベル4
直接工事費					
技術管理費					
技術管理費		式		1	レベル2
技術管理費		式		1	レベル3
土質試験	土粒子の密度試験 1試料3個	試料		2	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格 1・規格 2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	備 考
土質試験	土の粒度試験 (1), 沈降分析 (ふるい分析含)	試料		2	レベル 4
土質試験	突固めによる土の締固め試験 (非乾燥法) モールド径10cm, ランマー25N	試料		2	レベル 4
土質試験	土の透水試験, 変水位 1試料1個	試料		2	レベル 4
土質試験	土の含水比試験 1試料3個	試料		2	レベル 4
土質試験	六価クロム溶出試験 試験方法1	試料		1	レベル 4
共通仮設費率分額					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
工事原価					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
工事価格計					
消費税相当額計					
請負工事費計					

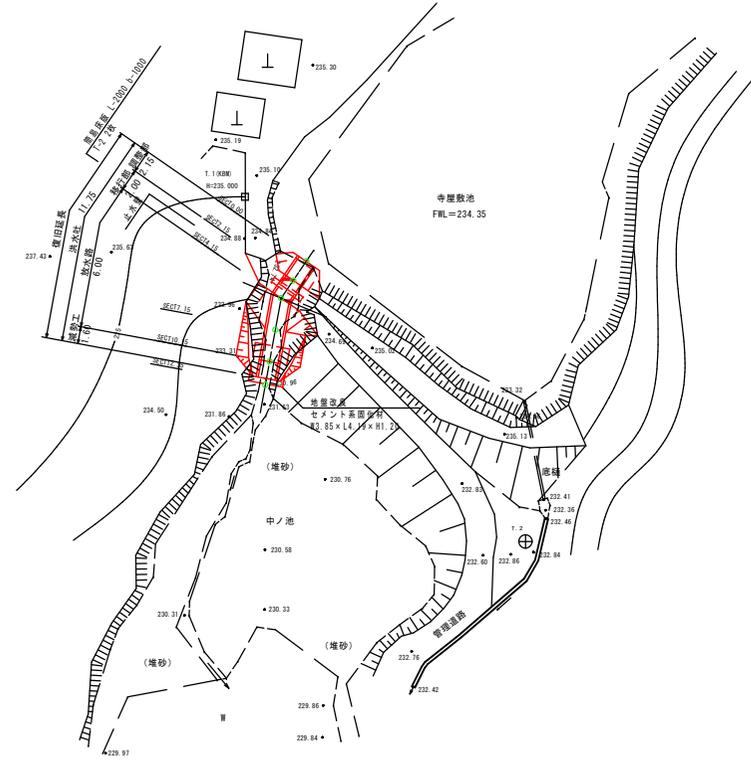
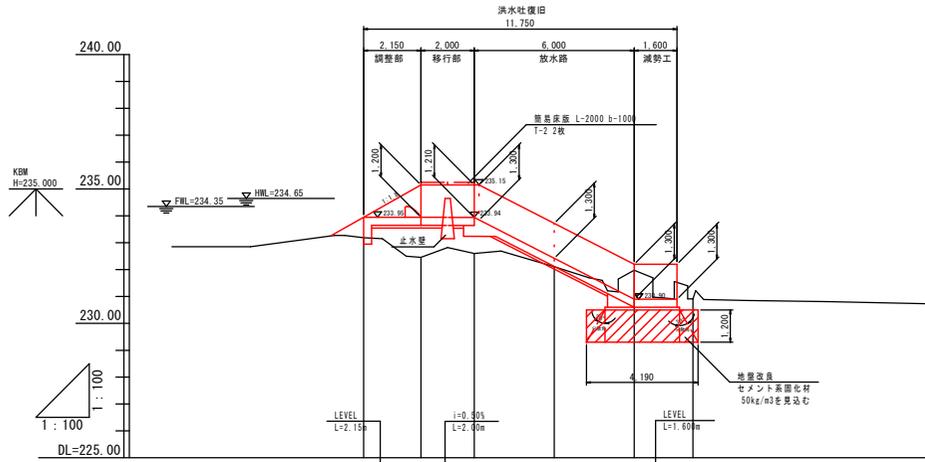
寺屋敷池

洪水吐縦断面図

S=1:100

平面図

S=1:250



測点	X座標	Y座標
T.1 (KBM)	100.000	100.000
T.2	67.923	198.323
SECT2.00	93.987	105.752
SECT2.15	92.213	104.536
SECT4.15	90.563	103.405
SECT7.15	87.613	102.862
SECT10.15	84.653	102.319
SECT12.35	82.499	101.921

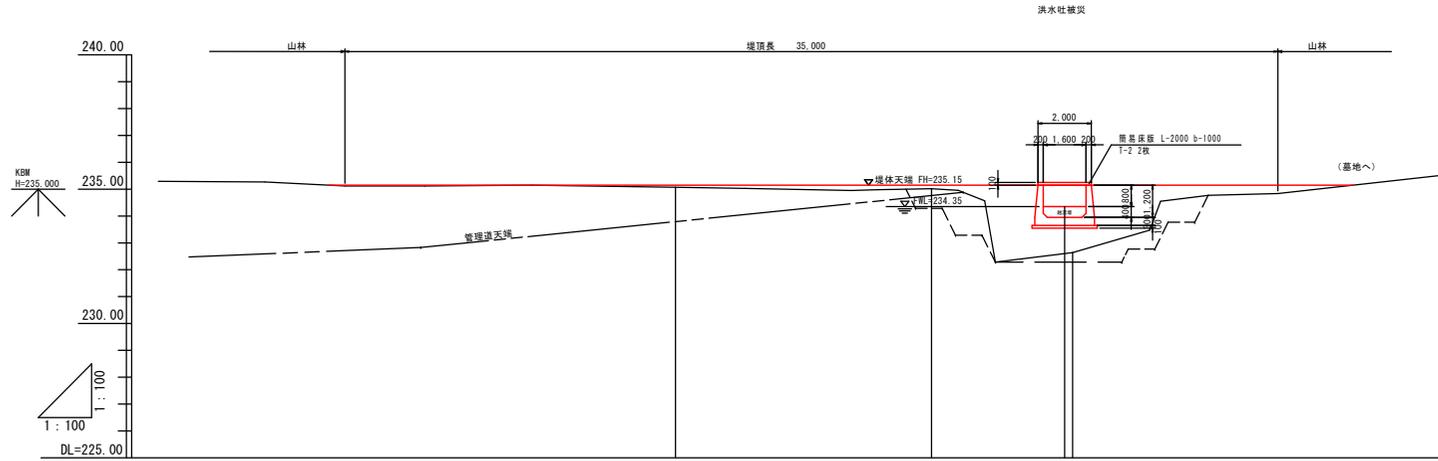
勾配		$i=50.67\%$	$i=6.00\%$			
計画標高		233.95	233.95	233.94	230.90	230.90
地盤標高		233.19	232.46	232.60	232.11	230.91
切土					1.08	
盛土		0.76	1.49	1.34	0.31	
追加距離		0.00	2.15	4.15	7.15	10.15
点間距離		0.00	2.15	2.00	3.00	3.00
測点		SECT 0.00	SECT 2.15	SECT 4.15	SECT 7.15	SECT 10.15
						SECT 12.35

101
212

小運搬なし	
図面の名称	図面番号
令和5年6月30日~7月1日梅雨前線豪雨 東京都八木松町原 寺屋敷池 復旧計画図	1 8
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製図	
図検	

寺屋敷池 堤体縦断図

S=1:100



勾配	LEVEL																									
計画標高																										
地盤標高	235.28	235.27	235.12	235.12	235.15	235.07	235.15	235.03	235.15	234.95	234.98	235.02	234.96	234.57	232.29	232.64	235.15	235.15	234.55	235.15	234.77	235.15	234.84	235.15	235.28	
切土																										
盛土																										
追加距離	0.00	2.00	5.00	8.00	12.00	17.40	20.00	24.00	25.00	27.00	28.00	29.00	29.40	32.30	35.20	35.60	37.40	40.00	44.00							
点間距離	0.00	2.00	3.00	3.00	4.00	5.40	2.60	4.00	1.00	2.00	1.00	1.00	0.40	2.90	2.05	0.40	1.90	2.60	4.00							
測点	-27.0	-25.0	-22.0	-19.0	-15.0	-9.6	-7.0	-3.0	-2.0	DL	-1.0	-2.0	-2.4	-5.3	-8.2	-8.6	-10.4	-13.0	-17.0							

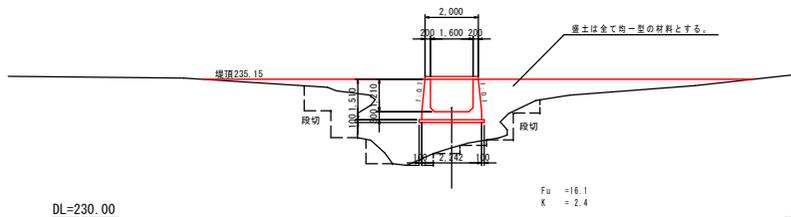
101
212

図面の名称		図面番号
令和5年6月30日~7月1日梅雨前線豪雨 東成島市八木松町原 寺屋敷池 復旧計画図		2 8
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製図		
図検		

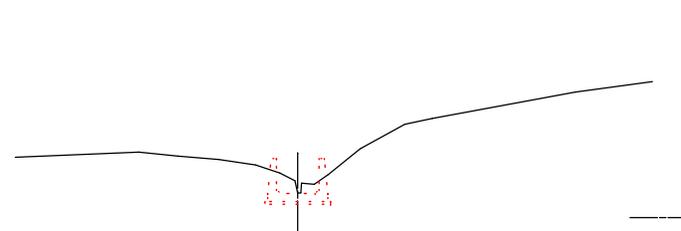
洪水吐横断面図

縮尺=1:100

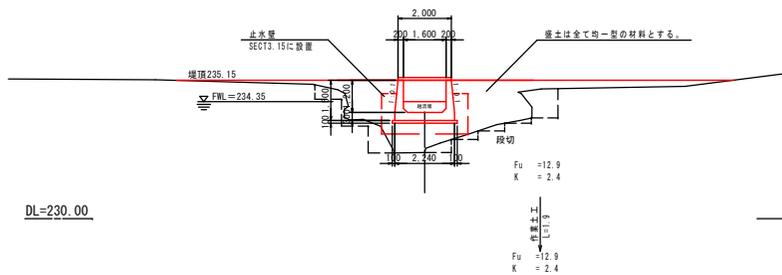
D= 3.00
SECT4. 15
GH= 232.60
FH= 233.94



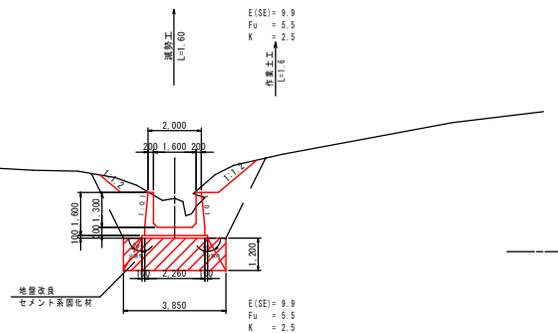
D= -
SECT12. 35
GH= 230.91
FH= -



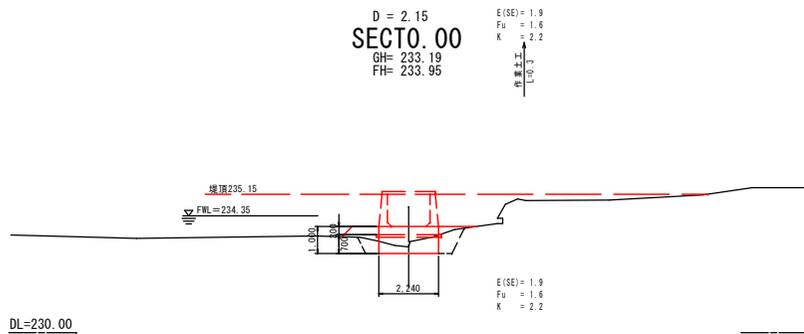
D = 2.00
SECT2. 15
GH= 232.46
FH= 233.95



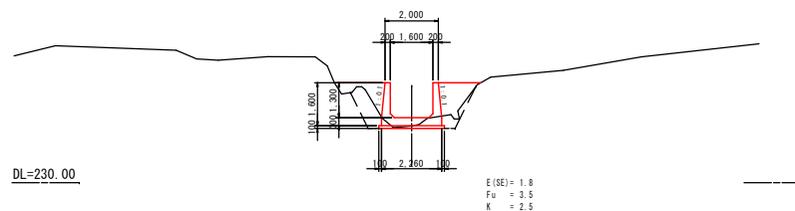
D = 2.20
SECT10. 15
GH= 231.98
FH= 230.90



D = 2.15
SECT0. 00
GH= 233.19
FH= 233.95



D = 3.00
SECT7. 15
GH= 232.11
FH= 232.42

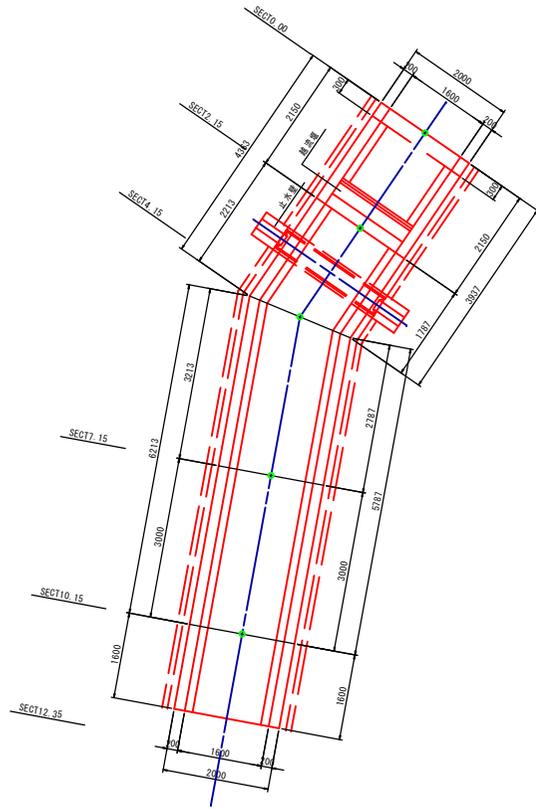


図面の名称		図面番号
令和6年6月30日~7月1日福岡県築港 東成島市八木松野原 寺尾敷池 復旧計画図		3
測 量		令和 年 月 日終了
設 計		
製 図 師		
図 標 号		

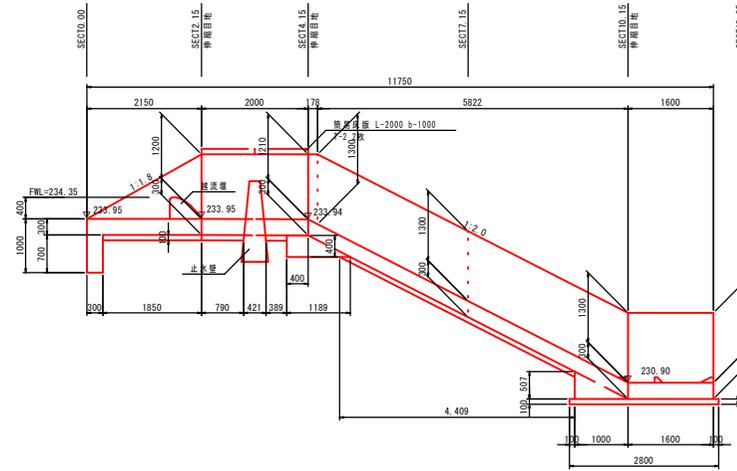
101
212

洪水吐構造図 S=1:50

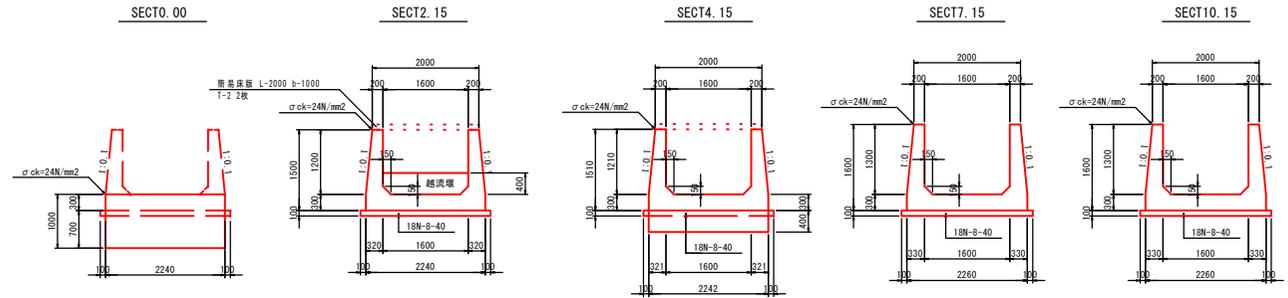
平面図



側面図

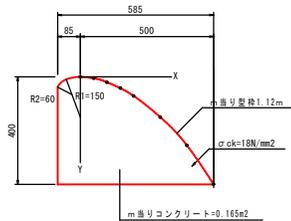


断面図



越流堰

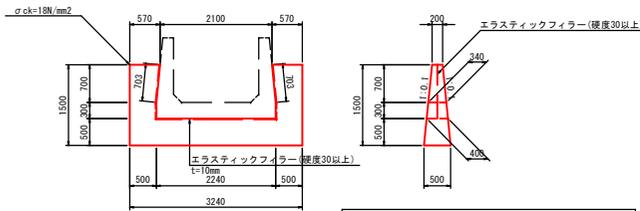
S=1:10



X	0.050	0.100	0.150	0.200	0.300	0.400	0.500
Y	0.005	0.020	0.042	0.071	0.150	0.225	0.400

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σ ck=18N/mm²	m³	0.264
円形型枠		m²	1.79

止水壁



名称	規格	単位	数量
コンクリート	σ ck=18N/mm²	m³	1.042
型枠		m²	6.41
エラストックファイラー	t=10mm 硬度30以上	m²	1.50

小運搬なし

図面の名称	図面番号
令和6年6月30日~7月15日梅雨対策計画 東広島市八木松町 寺尾敷池 復旧計画図	4 8
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製図	
図検	

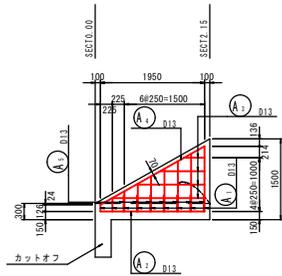
調整部 配筋図

縮尺=1:50

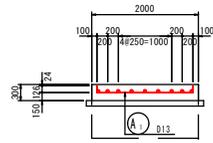
調整部 鉄筋加工図

縮尺=1:50

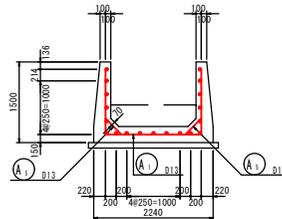
側壁



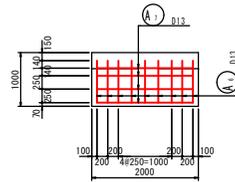
上流断面 (SECT.00)



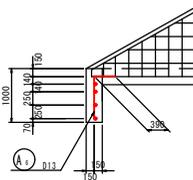
下流断面 (SECT.15)



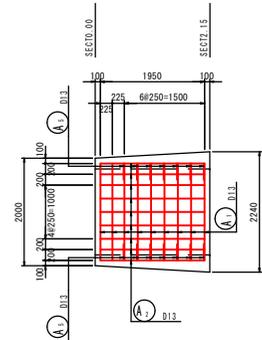
カットオフ 正面



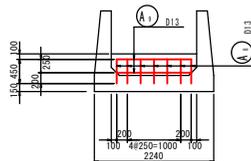
カットオフ 断面



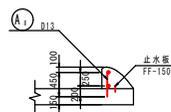
底板



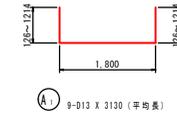
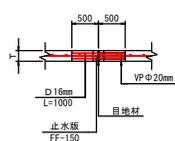
越流堰 正面



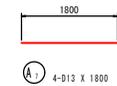
越流堰 断面



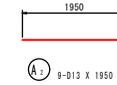
伸縮目地



A1 9-D13 X 3130 (平均長)



A2 4-D13 X 1800



A3 9-D13 X 1950



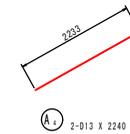
A4 7-D13 X 450



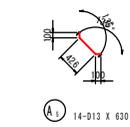
A5 9-D13 X 1060 (平均長)



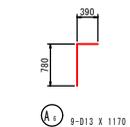
A6 2-D13 X 1400



A7 2-D13 X 2240



A8 14-D13 X 630



A9 9-D13 X 1170

鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	概要
A1	D13	3130	9	0.995	3.114	28.026	┌ (平均長)
A2	D13	1800	4	0.995	1.940	7.760	└
A3	D13	1950	9	0.995	1.055	8.440	└ (平均長)
A4	D13	450	7	0.995	2.229	4.458	└
A5	D13	1060	14	0.995	0.627	8.778	└
A6	D13	1170	9	0.995	1.164	10.476	└
A7	D13	2240	2	0.995	1.791	7.164	└
A8	D13	630	14	0.995	0.448	3.136	└
A9	D13	1400	2	0.995	1.393	2.786	└
90.724 kg							
合計 D13				90.724 kg			
総質量				90.724 kg			

調整部	数量表	1箇所当り
名称	規格	単位 数量
コンクリート	σ _{ck} =24N/mm ²	m ³ 2.628
型枠		m ² 10.69
均しコン	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³ 0.451
均しコン型枠		m ² 0.37
止水板	FF-150	n 2.40

101 / 212

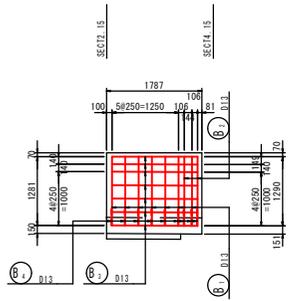
小運搬なし

図面の名称	図面番号
令和6年6月30日~7月15日臨時貯留池 東成島市八木松町 寺屋敷池 復旧計画図	5 / 8
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製図	
図検	

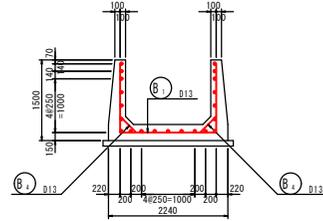
移行部 配筋図

縮尺=1:50

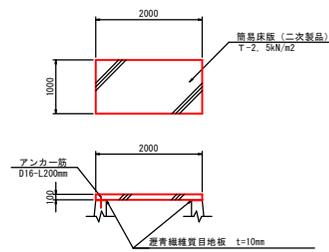
左側壁



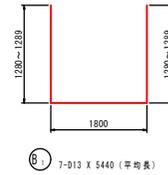
上流断面 (SECT2.15)



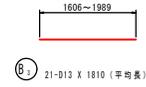
簡易床版



名称	規格	1箇所当り	
		単位	数量
簡易床版	T-2	枚	1.0
アンカー筋	D16-L200mm	本	1.0
瀝青繊維質目地版	t=10mm	m ²	0.40

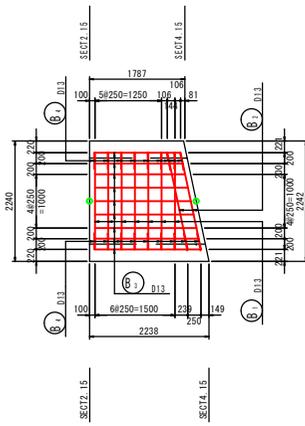


B1 7-D13 X 5440 (平均長)

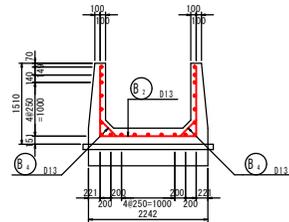


B2 21-D13 X 1810 (平均長)

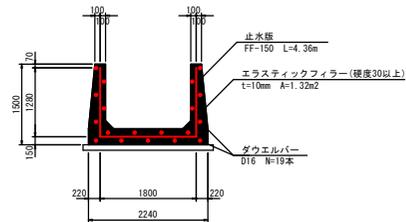
底版



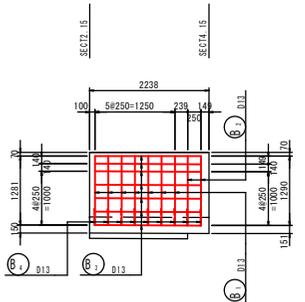
下流断面 (SECT4.15)



伸縮目地 (SECT2.15)

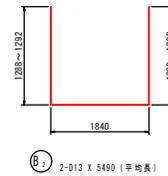


左側壁

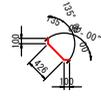


移行部 鉄筋加工図

縮尺=1:50



B3 2-D13 X 5490 (平均長)



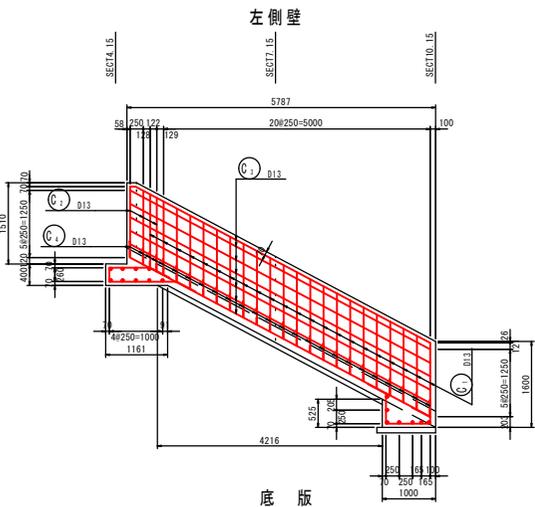
B4 18-D13 X 630

鉄筋質量表

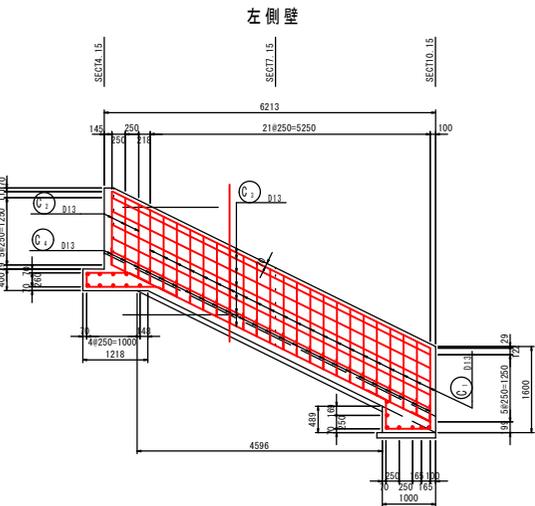
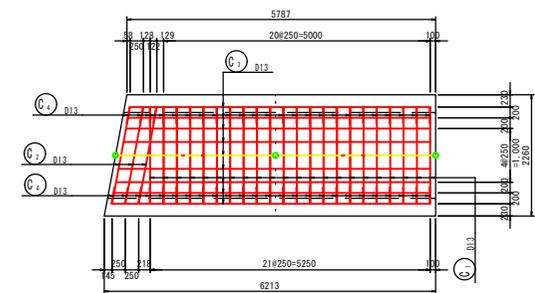
記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	概要	
B1	D13	5440	7	0.995	5.413	37.891	└┘ (平均長)	
B2	D13	5490	2	0.995	5.463	10.926	└┘ (平均長)	
B3	D13	1810	21	0.995	1.801	37.821	└┘ (平均長)	
B4	D13	630	18	0.995	0.627	11.286	└┘	
97.924 kg								
合計 D13							97.924 kg	
総質量							97.924 kg	

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σ _{ck} =24N/mm ²	m ³	2.645
型枠		m ²	12.18
均しコン	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	0.290
均しコン型枠		m ²	0.24
ダウエルバー	D16	本	19.0
止水版	FF-150	m	4.36
エラスティックファイラー	t=10mm 硬度30以上	m ²	1.32

小運搬なし	
図面の名称	図番
令和6年6月30日~7月15日橋脚耐震補強 東成島市八木松町 寺屋敷池 復旧計画図	6 8
測量	年月日終了
設計	
製図	
図検	



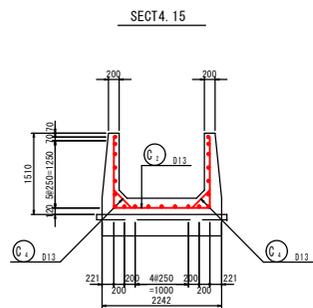
底版



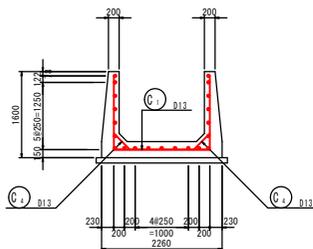
左側壁

放水路 配筋図

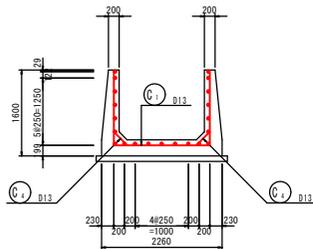
縮尺=1:50



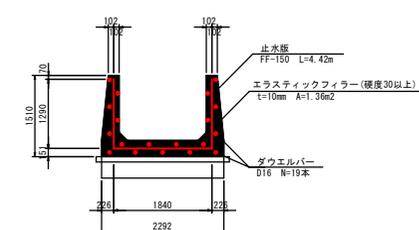
SECT 7.15



SECT 10.15

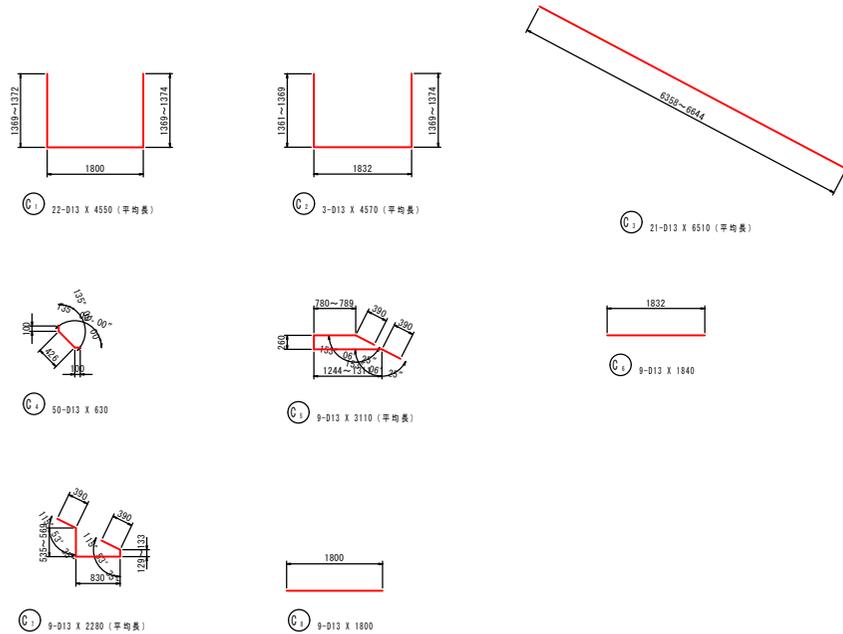


伸縮目地 (SECT 4.15)



放水路 鉄筋加工図

縮尺=1:50



鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	備考
C ₁	D13	4550	22	0.995	4.527	99.594	□ (平均長)
C ₂	D13	4570	3	0.995	4.547	13.641	□ (平均長)
C ₃	D13	6510	21	0.995	6.477	136.017	□ (平均長)
C ₄	D13	630	50	0.995	0.627	31.350	□ (平均長)
C ₅	D13	3110	9	0.995	3.094	27.846	□ (平均長)
C ₆	D13	1840	9	0.995	1.931	16.479	□ (平均長)
C ₇	D13	2280	9	0.995	2.269	20.421	□ (平均長)
C ₈	D13	1800	9	0.995	1.791	16.119	□ (平均長)
						361.467 kg	
合計 D13						361.467 kg	
総質量						361.467 kg	

放水路 数量表		1箇所当り	
名称	規格	単位	数量
コンクリート	σ _{ck} =24N/mm ²	m ³	9.614
型枠		m ²	43.43
均しコン	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	1.351
均しコン型枠		m ²	1.35
ダウエルバー	D16	本	19.0
止水板	FF-150	m	4.42
エラストックフィラー	t=10mm 硬度30以上	m ²	1.36

小運搬なし			
図面の名称	図面番号		
令和4年6月30日～7月15日概算設計数量表 東成島市八木松町 寺屋敷池 復旧計画図	7		
	8		
測量	令和 年 月 日終了		
設計			
製図			
図検			

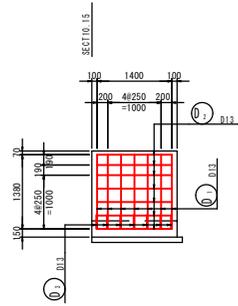
減勢工 配筋図

縮尺=1:50

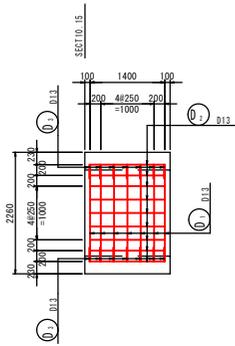
減勢工 鉄筋加工図

縮尺=1:50

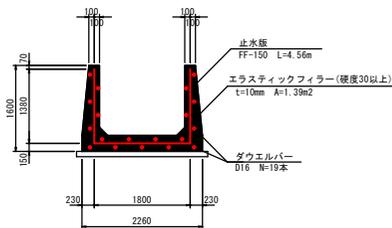
側壁



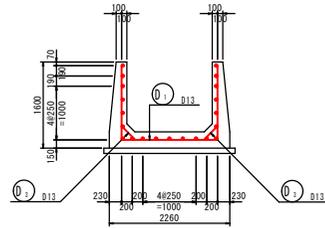
底板



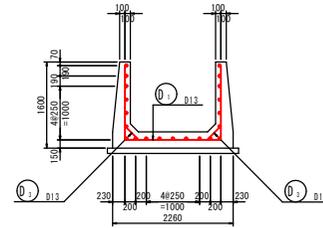
伸縮目地 (SECT10.15)



上流断面 (SECT10.15)

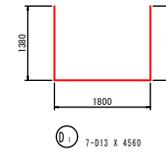
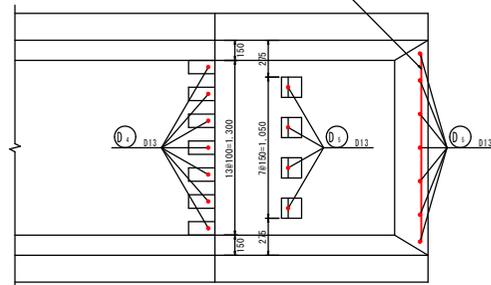
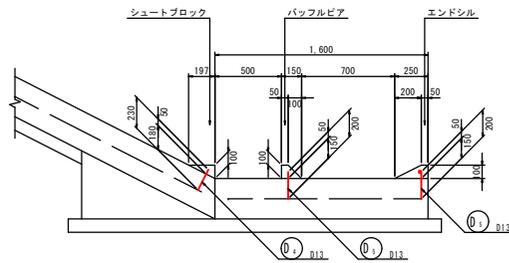


下流断面

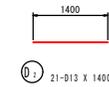


シュートブロック、パッフルピア、エンドシル

縮尺=1:20



D1 7-D13 X 4560



D2 21-D13 X 1400



D3 14-D13 X 570

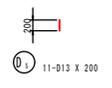
鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	備考
D ₁	D13	4,560	7	0.995	4.937	31,759	┌
D ₂	D13	1,400	21	0.995	1.393	29,253	└
D ₃	D13	570	14	0.995	0.567	7,938	┘
D ₄	D13	230	7	0.995	0.229	1,603	┘
D ₅	D13	200	11	0.995	0.199	2,189	└
D ₆	D13	1,400	1	0.995	1.393	1.393	└
						74,135 kg	
合計 D13						74,135 kg	
総質量						74,135 kg	

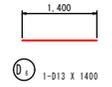
減勢工 数量表	規格	単位	1箇所当り 数量
コンクリート	σck=24N/mm ²	m ³	2.477
部材		m ²	12.59
均しコン	σck=18N/mm ²	m ³	0.418
均しコン型枠		m ²	0.83
ダウエルバー	D16	本	19.0
止水板	FF-150	m	4.56
エラストックファイラー	t=10mm 硬度30以上	m ²	1.39



D1 7-D13 X 230



D2 11-D13 X 200



D3 1-D13 X 1400

101
212

小運搬なし	図面の名称	図面番号
	令和6年6月30日~7月15日橋脚耐震補修工事 東成島市八木松町 寺屋敷池 復旧計画図	8 8
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製図		
図検		

参 考 図 書

工 事 名 称 : 令和7年度 農業用施設災害復旧事業
八本松地区災害復旧工事(7-2)

<注意事項>

- 1 本工事は、数量公開の対象工事です。
- 2 この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。
数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、
契約上の拘束をするものではありません。

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 44 東広島市 00-07.06.01(0) 9 公共(011015～)		
	当世代	前世代	
諸経費工種 工事費端数区分 週休補正区分 施工地域・工事場所区分 契約保証費区分 前払支出割合区分 軽油区分 復興補正区分 ICT補正区分	21 ため池工事 01 千円未満切捨 03 4週8休以上 05 中山間地域 01 金銭的保証(0.04%) 00 補正なし 00 一般軽油使用 00 補正なし 00 補正なし		

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費										
ため池									レベル1	
	1			式						
寺屋敷池									レベル2	
	1			式						
作業土工									レベル3	
	1			式						
床掘									レベル4	
	1			式						
床掘り 土砂 上記以外(小規模)									00	
	37			m3					単第 0 -0001号表	
埋戻 土砂									レベル4	
	1			式						
機械併用盛土(小規模土工)									00	
	110			m3					単第 0 -0002号表	
購入土 ランダム材 CBR20以上									レベル4	
	97			m3						

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離7.0km以下(5.5km超)	81		m3						00	単第 0 -0005号表
真砂土(ほぐし) 光陽産業株式会社 CBR20以上	97		m3						00	
洪水吐工(調整部)	1		式						レベル3	
コンクリート 24-12-25BB	2.6		m3						レベル4	
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB バックホウ(クレーン機能付)打設	2.6		m3						00	単第 0 -0006号表
型枠 一般型枠	11		m2						レベル4	
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	11		m2						00	単第 0 -0007号表
均しコンクリート 18-8-40BB	0.5		m3						レベル4	
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.5		m3						00	単第 0 -0008号表

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
均しコンクリート型枠 一般型枠	0.4	m2			レベル4
型枠 一般型枠 均しコンクリート	0.4	m2			00 単第 0 -0009号表
鉄筋工 SD295_D13	0.091	t			レベル4
鉄筋工 SD295_D13 一般構造物 [規]10t未満	0.091	t			00 単第 0 -0010号表
止水板 FF 150*5	2.4	m			レベル4
止水板 止水板(各種)	2.4	m			00 単第 0 -0011号表
越流堰	1	箇所			レベル4
越流堰	1	箇所			00 単第 0 -0012号表
洪水吐工(移行部)	1	式			レベル3

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート 24-12-25BB	2.6	m3			レベル 4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25 (20)BB バックホウ(クレーン機能付)打設	2.6	m3			00 単第 0 -0006号表
型枠 一般型枠	12	m2			レベル 4
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	12	m2			00 単第 0 -0007号表
均しコンクリート 18-8-40BB	0.3	m3			レベル 4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.3	m3			00 単第 0 -0008号表
均しコンクリート型枠 一般型枠	0.2	m2			レベル 4
型枠 一般型枠 均しコンクリート	0.2	m2			00 単第 0 -0009号表
鉄筋工 SD295_D13	0.098	t			レベル 4

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄筋工 SD295_D13 一般構造物 [規]10t未満	0.098	t			00 単第 0 -0010号表
ダウエルバー取付 異形棒鋼 SD295_D16	19	本			レベル 4
ダウエルバー取付 異形棒鋼 D16	19	本			00 単第 0 -0014号表
止水板 FF 150*5	4.4	m			レベル 4
止水板 止水板(各種)	4.4	m			00 単第 0 -0011号表
目地板 ゴム発泡体目地板t=10mm 硬度30以上	1	m2			レベル 4
目地板 1工事当り使用量30m2未満 ゴム発泡体t=10mm	1	m2			00 単第 0 -0015号表
止水壁	1	箇所			レベル 4
止水壁	1	箇所			00 単第 0 -0016号表

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
床版工 T-2	2			枚					レベル4	
簡易床版工	2			枚					00	単第 0 -0017号表
洪水吐工(放水路)	1			式					レベル3	
コンクリート 24-12-25BB	9.6			m3					レベル4	
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB バックホウ(クレーン機能付)打設	9.6			m3					00	単第 0 -0006号表
型枠 一般型枠	43			m2					レベル4	
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	43			m2					00	単第 0 -0007号表
均しコンクリート 18-8-40BB	1.4			m3					レベル4	
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	1.4			m3					00	単第 0 -0008号表

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
均しコンクリート型枠 一般型枠	1.4	m2			レベル4
型枠 一般型枠 均しコンクリート	1.4	m2			00 単第 0 -0009号表
鉄筋工 SD295_D13	0.362	t			レベル4
鉄筋工 SD295_D13 一般構造物 [規]10t未満	0.362	t			00 単第 0 -0010号表
ダウエルバー取付 異形棒鋼 SD295_D16	19	本			レベル4
ダウエルバー取付 異形棒鋼 D16	19	本			00 単第 0 -0014号表
止水板 FF 150*5	4.4	m			レベル4
止水板 止水板(各種)	4.4	m			00 単第 0 -0011号表
目地板 ゴム発泡体目地板t=10mm 硬度30以上	1	m2			レベル4

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
目地板 1工事当り使用量30m2未満 ゴム発泡体t=10mm	1	m2			00 単第 0 -0015号表
洪水吐工(減勢工)	1	式			レベル3
コンクリート 24-12-25BB	2.5	m3			レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB バックホウ(クレーン機能付)打設	2.5	m3			00 単第 0 -0006号表
型枠 一般型枠	13	m2			レベル4
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	13	m2			00 単第 0 -0007号表
均しコンクリート 18-8-40BB	0.4	m3			レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.4	m3			00 単第 0 -0008号表
均しコンクリート型枠 一般型枠	0.8	m2			レベル4

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
型枠 一般型枠 均しコンクリート	0.8		m2						00	単第 0 -0009号表
鉄筋工 SD295_D13	0.074		t						00	レベル4
鉄筋工 SD295_D13 一般構造物 [規]10t未満	0.074		t						00	単第 0 -0010号表
ダウエルバー取付 異形棒鋼 SD295_D16	19		本						00	レベル4
ダウエルバー取付 異形棒鋼 D16	19		本						00	単第 0 -0014号表
止水板 FF 150*5	4.6		m						00	レベル4
止水板 止水板(各種)	4.6		m						00	単第 0 -0011号表
目地板 ゴム発泡体目地板t=10mm 硬度30以上	1		m2						00	レベル4
目地板 1工事当り使用量30m2未満 ゴム発泡体t=10mm	1		m2						00	単第 0 -0015号表

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
シュートブロック									レベル4	
	1			箇所						
シュートブロック									00	
	1			箇所					単第 0 -0021号表	
バップルピア									レベル4	
	1			箇所						
バップルピア									00	
	1			箇所					単第 0 -0022号表	
エンドシル									レベル4	
	1			箇所						
エンドシル									00	
	1			箇所					単第 0 -0023号表	
地盤改良工									レベル3	
	1			式						
地盤改良工 混合深さ1.2m セメント系固化材 一般軟弱土用 50kg/m3									レベル4	
	16			m2						
安定処理 混合深さ1mを超え2m以下 6t/100m2 セメント系固化材 一般軟弱土用									00	
	16			m2					単第 0 -0024号表	

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
直接工事費										
技術管理費										
技術管理費									レベル 2	
技術管理費	1			式						
技術管理費									レベル 3	
技術管理費	1			式						
土質試験									レベル 4	
土粒子の密度試験 1試料3個	2			試料						
室内土質試験 土粒子の密度試験 1試料3個	2			試料					00	
土質試験									レベル 4	
土の粒度試験(1), 沈降分析(ふるい分析含)	2			試料						
室内土質試験 土の粒度試験(1), 沈降分析(ふるい分析含)	2			試料					00	
土質試験									レベル 4	
突固めによる土の締固め試験(非乾燥法) モールド径10cm, ランマー25N	2			試料						

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
純工事費					
現場管理費					
工事原価					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
工事価格計					
消費税相当額計					
請負工事費計					

施工単価表

床掘り
土砂 上記以外(小規模)

SPK24040015

単第 0 -0001号表

機械構成比: 19.87% 労務構成比: 72.99% 材料構成比: 7.14% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m3 当り 2,170.7000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	19.87%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	39.96%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	7.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

機械投入(バックホウ)

SPK24040007

単第 0 -0003号表

土砂

小規模(標準以外)

1

m3 当り

機械構成比: 20.80%

労務構成比: 71.28%

材料構成比: 7.92%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,768.5000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.80%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	71.28%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	7.92%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=5 小規模(標準以外)		

施工単価表

土砂等運搬

SPK24040002

単第 0 -0005号表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離7.0km以下(5.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 18.57% 労務構成比:

72.35% 材料構成比: 9.08%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 4,025.3000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	18.57%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.35%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	9.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=31 距離7.0km以下(5.5km超)			B=6 バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

コンクリート
無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB
機械構成比: 3.79%

SPK24040153

単第 0 -0006号表

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

労務構成比: 35.68%

材料構成比: 60.53%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 33,754.0000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3, 2011, 2014	3.58%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.10%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.64%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24, スランプ12, 粗骨材20(25) W/C(55%), 種別(高炉)	58.70%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	1.73%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

型枠

SPK24040155

単第 0 -0007号表

一般型枠

鉄筋・無筋構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

100.00%

材料構成比:

0.00%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

9,352.2000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.19%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.57%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

コンクリート

SPK24040153

単第 0 -0008号表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.79%

労務構成比:

35.68%

材料構成比: 60.53%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

33,754.0000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3, 2011, 2014	3.58%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.10%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.64%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18, スランプ8, 粗骨材40 W/C(60%), 種別(高炉)	58.70%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	1.73%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

型枠 SPK24040155

単第 0 -0009号表

一般型枠 均しコンクリート

1

m2 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 100.00% 材料構成比: 0.00% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 4,714.1000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	58.35%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	20.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	6.13%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=5 均しコンクリート		

施工単価表

型枠

SPK24040155

単第 0 -0013号表

一般型枠

鉄筋・無筋構造物(合板円形型枠使用)

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

100.00%

材料構成比:

0.00%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

12,676.0000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.70%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	32.99%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.03%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=3 鉄筋・無筋構造物(合板円形型枠使用)		

施工単価表

目地板

SPK24040122

単第 0 -0015号表

1工事当り使用量30m2未満

ゴム発泡体t=10mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

63.93%

材料構成比:

36.07%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

3,855.3000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	47.13%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	16.49%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ゴム発泡体 t=10mm 硬度30以上	36.07%		瀝青繊維質目地板 厚さ10mm		TTPCD0148 TTPT00199
積算単価			積算単価		EP001
A=1 1工事当り使用量30m2未満			B=4 ゴム発泡体t=10mm		

施工単価表

プレキャスト集水桝

SPK24040095

単第 0 -0018号表

据付 基礎砕石無し

製品質量(kg/基)400kgを超え600kg以下

1

基 当り

機械構成比: 10.56%

労務構成比:

87.22%

材料構成比:

2.22%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

6,106.2000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	9.97%		バックホウ クローラ型 クレーン機能付1.7t 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00019 KTPT00019
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	36.34%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	27.39%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	14.19%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	4.37%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.10%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

目地板

SPK24040122

単第 0 -0020号表

1工事当り使用量30m2未満

瀝青繊維質目地板t=10mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

63.93%

材料構成比:

36.07%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

3,855.3000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	47.13%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	16.49%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
目地板 瀝青繊維質板 厚10mm	36.07%		瀝青繊維質目地板 厚さ10mm		TTPC00199 TTPT00199
積算単価			積算単価		EP001
A=1 1工事当り使用量30m2未満			B=1 瀝青繊維質目地板t=10mm		

施工単価表

安定処理

SPK24040024

単第 0 -0024号表

混合深さ1mを超え2m以下 6t/100m2

セメント系固化材 一般軟弱土用

1

m2 当り

機械構成比: 7.77%

労務構成比:

50.76%

材料構成比:

41.47%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

2,854.0000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3, 2011, 2014	6.94%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.6~0.7t	0.83%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.6~0.7t		KTPC00071 KTPT00071
土木一般世話役	13.71%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	13.11%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	12.63%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	11.31%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコンパック 【地区単価×固化材100m2当り使用量(t)】	35.68%		セメント系固化材 特殊土用・フレコン・1tパック 【標準数量 5.25t/100m2】		TTPC00050 TTPT00397
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	5.79%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		E9999

工 事 数 量 総 括 表

寺屋敷池

工事区分 (レベル1)	工 種 (レベル2)	種 別 (レベル3)	細 別 (レベル4)	規 格 (レベル5)	単位	計算数量	設計数量	摘 要
ため池								
	洪水吐工	作業土工	床掘		m3	36.7	37	
			埋戻	機械転圧	m3	105.7	110	
			基面整正		m2	29.0	29	
			不足土		m3	96.8	97	80.7*1.2
		調整部	コンクリート	24-8-20	m3	2.6	2.6	
			型 枠		m2	10.7	11	
			均しコン	18-8-40	m3	0.5	0.5	
			均しコン型枠		m2	0.4	0.4	
			鉄 筋	SD295A-D13	kg	90.7	90.7	
			越流堰		箇所	1.0	1	
		移行部	コンクリート	24-8-20	m3	2.6	2.6	
			型 枠		m2	12.2	12	
			均しコン	18-8-40	m3	0.3	0.3	
			均しコン型枠		m2	0.2	0.2	
			鉄 筋	SD295A-D13	kg	97.9	97.9	
			止水壁		箇所	1.0	1	
			プレキャスト 床版	T-2	枚	2.0	2	
		放水路	コンクリート	24-8-20	m3	9.6	9.6	
			型 枠		m2	43.4	43	
			均しコン	18-8-40	m3	1.4	1.4	
			均しコン型枠		m2	1.4	1.4	
			鉄 筋	SD295A-D13	kg	361.5	361.5	

土量配分表

掘削
0

$$0.0 \quad \div 0.9 = \quad 0.0$$

盛土
0.0

床掘
36.7

$$105.7 \quad \div 0.9 = \quad 117.4$$

埋戻
105.7

他箇所からの流用
0.0

$$0.0 + 36.7 + 0.0 - 0.0 - 117.4 = -80.7$$

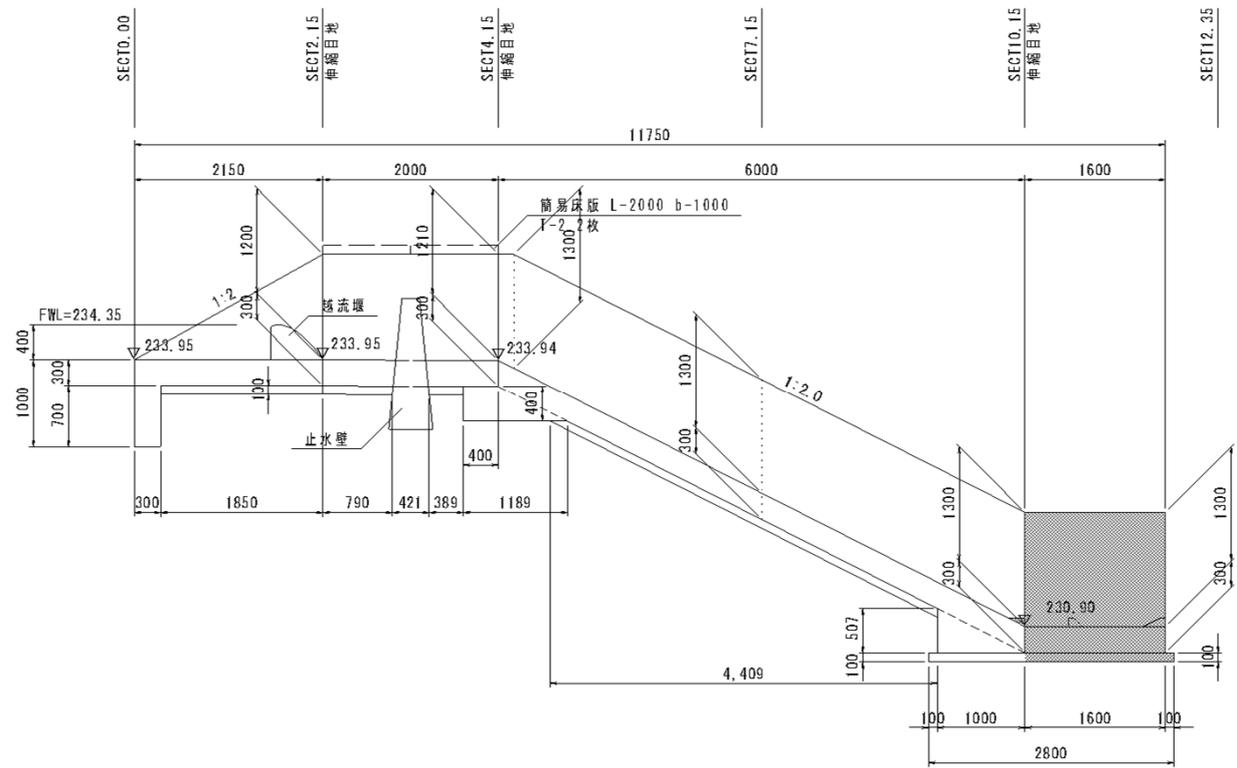
不足土
-80.7
計 -80.7

寺屋敷池

各種数量計算書

作業土工(洪水吐)

測点	距離	床掘			埋戻			基面整正			摘要
		断面	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量	
SECT 0.0		1.9			1.6			2.2			
	0.3	1.9	1.90	0.6	1.6	1.60	0.5	2.2	2.20	0.7	
		0.0			12.9			2.4			
SECT 2.15	1.9	0.0	0.00	0.0	12.9	12.90	24.5	2.4	2.40	4.6	
SECT 4.15	2.0	0.0	0.00	0.0	16.1	14.50	29.0	2.4	2.40	4.8	
SECT 7.15	3.0	1.8	0.90	2.7	3.5	9.80	29.4	2.5	2.45	7.4	
SECT10.15	3.0	9.9	5.85	17.6	5.5	4.50	13.5	2.5	2.50	7.5	
	1.6	9.9	9.90	15.8	5.5	5.50	8.8	2.5	2.50	4.0	
合計	11.8			36.7			105.7			29.0	



種別	規格	計算式	数量
コンクリート	24-8-20	$1.390 \times 1.600 + 0.007 + 0.006 + 0.240$	2.477 m ³
型枠		$(5.81 + 5.81) / 2 \times 1.600 + 0.21 + 0.14 + 0.16 + 1.390 \times 2$	12.59 m ²
均しコン	18-8-40	0.246×1.700	0.418 m ³
均しコン型枠		$(1.700 + 2.460) \times 2 \times 0.100$	0.83 m ²
鉄筋	SD295A D13		74.1 kg
ダウエルバー	D16		19.0 本
止水版	FF-150		4.56 m
エラストックファイラー	t=10mm 硬度30以上		1.39 m ²
シュートブロック			
コンクリート	18-8-40	$(0.197 \times 0.100 \times 1/2 \times 0.100) \times 7$	0.007 m ³
型枠		$(0.197 \times 0.100 + 0.100 \times 0.100) \times 7$	0.21 m ²
バツフルピア			
コンクリート	18-8-40	$((0.050 + 0.150) \times 1/2 \times 0.100 \times 0.150) \times 4$	0.006 m ³
型枠		$((0.050 + 0.150) \times 1/2 \times 0.100 \times 2 + 0.100 \times 0.150) \times 4$	0.14 m ²
エンドシル			
コンクリート	18-8-40	$((0.050 + 0.250) \times 1/2 \times 0.100) \times 1.600$	0.024 m ³
型枠		0.100×1.600	0.16 m ²

